

# 1 時制

## 英文法演習 (英語コース必修)

今週の課題は

① 「18 主語と述語動詞の一致」をノートにやること (配信済)

② 本日配布の 1 時制、2 受動態、3 助動詞、9 動

詞の語法①の解答プリントを参考にしてノート

の答え合わせと復習をしておくこと。

の 2 つです。

提出物はありません、各自どんどん問題を解いて

いって下さい。市販の問題集や Zoom 総合英語の

復習でもいいので、とにかく問題を解いていくこ

とが大事です。頑張ってくださいね。

担当 英語科 山野

①

1. ④ ハワイは、チョコレートを作るためにカカオ豆を栽培しているアメリカでは唯一の州である。

◆001 現在時制

\*先行詞が三人称単数の the only American state なので、関係詞節内の動詞は① grow ではなく②④ grows が正しい。(◆183)

\* grow A [A (植物・農作物) を栽培する、育てる]

2. ② 私の父は3日前に出張に行った。

◆001 過去時制

3. ④ 私の家族は、明晩、私のピアノコンサートを見に来る。

◆001 未来時制

4. ③ 今、激しく雨が降っているので、あなたは外出すべきではない。

◆002 現在進行形

5. ① 私は明朝、アメリカへ旅立つことになっている。

◆002 現在進行形 (予定・計画)

\* leave for A [A に向かって出発する]

6. ① 私たちがテストを受けていたら、停電した。

◆002 過去進行形

\* 「停電したとき、私たちはテストを受けているところだった」が直訳。(◆001)

\* The lights go out. 「明かりが消える、停電する」

7. ④ 明日の今頃、彼らは楽しい時間を過ごしていることだろう。

◆002 未来進行形

\* have a good time 「楽しい時間を過ごす」

8. ① 現在、私はテニスクラブに属している。

◆003 進行形にできない動詞 (belong to A)

\* at present 「現在 (のとき)」

9. ② サトウさんは6年間、学校の図書館司書をしている。

◆004 現在完了

10. ③ もしジョンがもう一度東京に行かなければならないとしたら、今年彼は5回東京を訪れたことになる。

◆004 未来完了

\* once again 「もう一度、再度」

11. ④ 部長が到着するまでには、その修理工人はコンピュータの修理を終えているだろう。

◆004 未来完了

\* by the time ... 「...するときまでには(すでに)」

(接続詞) (◆106)

12. ④ 私は喫茶店に傘を忘れてきたことを思い出した。

◆004 過去完了 (大過去)

13. ③ 「私はこの秋にニューヨークに行くつもりです」 「あら、いいわね、私も一度そこへ行ったことがあります」

◆005 have been to A (経験)

\* I have been there once. は I have been to New York once. ということを表す。

14. ③ 私たちはお互いを10年間知っている。

◆004 現在完了 / ◆006 現在までの状態の継続 (have known)

15. ③ 私の座は7歳の時から英語を学んでいる。

◆006 現在完了進行形

16. ① そのピッチャーはメジャーリーグでチャンスをつかむまで、何年間もマイナーリーグでプレーをしていた。

◆006 過去完了進行形

17. ④ 来年の3月で、マリアーはこの会社で15年間働いたことになる。

◆006 未来完了進行形

18. ① 彼が空港に着いたら、すぐに私に知らせてください。

◆007 時の副詞節 (as soon as ...)

\* (please) let me know 「私に知らせてください、教えてください」

◆008 when 節の区別 (副詞節)

19. ③ もし天気がいれば、私は明日行くだろう。

◆009 if 節の区別 (副詞節)

20. ② もし天気がいれば、私は明日行くだろう。

◆009 if 節の区別 (副詞節)

21. ② 彼女が次回いつ私に会いに来るか私は知ら

ない。

◆008 when 節の区別 (名詞節)

22. ① 明日雨が降るかどうかわからない、私にはわからない。

◆009 if 節の区別 (名詞節)

\* can tell if 節「...かどうかわかる、判断できる」

23. ① 私たちは来月、スビーチコンテストに参加するつもりだ。

◆010 be going to do

\* take part in A [Aに参加する]

24. ② 私が彼女と最後会ってから、2年経った。

◆011 時間の経過の表現 (時間 + have passed since SV ...)

②

25. ① → have passed 科学者たちが最初に世間の関心を食糧不足に向けさせ始めてから、20年以上経った。

◆011 時間の経過の表現 (時間 + have passed since SV ...)

\* begin doing 「...し始める (= begin to do)」

call attention to A [Aに関心向けさせる]

26. ③ → got 私は会議へ急いで行ったが、到着したときにはすでに会議は終わっていた。

◆001 過去時制 / ◆004 過去完了

27. ② → listening 私が到着したとき、フランスは彼の娘がベートーベンを演奏しているのを聞いているところだった。

◆002 過去進行形

\* listen to A doing [Aが...しているのを聞く]

(◆006)

28. ③ → have studied / have been studying 来年度の4月で、あなたは7年間英語を勉強したことになる。

◆004 未来完了 / ◆006 未来完了進行形

29. My boss informed me that he was going on vacation next week.

◆002 現在進行形 (予定・計画)

\* inform A that 節 (A (人) に...ということを知らせる)

30. Your support and kindness have restored my self-respect.

◆004 現在完了

31. The new factory will create 500 new jobs for the town.

◆001 未来時制

32. I am not sure if he will teach me how to play the guitar.

◆009 if 節の区別 (名詞節)

\* if 節内は he が S, will teach が V, me が O, how to play the guitar が O<sub>2</sub> という構造。

\* be not sure if 節「...かどうかわからない」

how to do 「...の仕方、方法」 (◆040)

33. "Hello, Abel! It's been a long time since we met last. How have you been?"

◆011 時間の経過の表現 (It has been + 時間 + since SV ...)

## 2 受動態

①

1. ④ ヘルギーでは、フランス語とオランダ語が話されている。

◆012 受動態の基本 (動作主を表す by A の省略)

2. ④ さらにその仕事をやりますか、それとも私たちは待たなければなりませんか。

◆013 助動詞を含む受動態 (will be done)

\* the work will be done の疑問文で、助動詞の will が文頭に出ている。

\* right away 「すぐに」

3. ③ 彼が入居するまでにその家は完成していませんでした。

◆014 完了形の受動態 (had not been done)

\* 「彼が入居した」という過去の時点までに「その家は完成していませんでした」という (未完了) の状況なので、had not been finished という過去完了形を用いている。(◆004)

\* move in 「入居する、引っ越してこる」

4. ③ その少年はみんなから笑われた。

◆016 群動詞の受動態 (be laughed at by A)

\* 群動詞 laugh at ... (…を笑う) を1つの動詞と考える。A laugh at B [AがBを笑う] の受動態は、B is laughed at by A となる。

5. ① その山々は雪で覆われている。

◆017 by 以外の前置詞を用いる受動態 (be covered with A)

6. ③ → have been taken そこにある用具で子どもたちが遊ばないことが確実になるよう、新しい安全対策が取られるまでは、その公園は閉園になると私たちは知らされた。

◆014 完了形の受動態 (have been done)

\* inform A that 節「Aに...ということを知らせる」, until ... 「...するまで (ずっと)」 (◆106), take measures 「対策を取る」, make sure

that 節「確実に...になるようにする」

7. ③ → known コンピューターが画像を描き、画像に色づけし、画像に陰影を付け、画像を処理するプロセスは、コンピューターグラフィックスとして知られている。

◆012 受動態の基本 / ◆017 by 以外の前置詞を用いる受動態 (be known as A)

\* The process が主語, by which computers draw, color, shade, and handle images はそれを先行詞とする関係詞節。by which は (前置詞 + 目的格の関係代名詞) を用いた表現。(◆093)

\* 名詞 images は、and で並列された4つの他動詞 draw, color, shade, handle の共通の目的語。

8. Who have these poor orphans been looked after by?

◆014 完了形の受動態 (have been done) / ◆016 群動詞の受動態 (be looked after by A)

\* These poor orphans have been looked after by A. (このかわいそうな孤児たちはAの世話になってきた) という受動態の、動作主 A を尋ねる疑問文。前置詞 by の目的語なので疑問代名詞 whom を用いることになるが、文頭では Whom の代わりに Who を用いる場合が多い。(◆184)

9. Because my photo appeared in a magazine, I am spoken to by many strangers.

◆016 群動詞の受動態 (be spoken to by A)

10. Our car is being repaired at the garage.

◆015 進行形の受動態 (be 動詞 + being done)

11. We are satisfied with the plan presented by him.

◆017 by 以外の前置詞を用いる受動態 (be satisfied with A)

\* presented は過去分詞で、形容詞句 presented by him は the plan を修飾している。(◆063)

### 3 助動詞

- ①
- ① あなたが長生きして、幸福に人生が終わりますように。  
 ▶018 may (折願)
  - ② 民主主義は言論の自由がなければ存続することができない。  
 ▶019 cannot [can't] (能力・可能)  
 \* 法律によれば、日本で運転免許証を取得するには18歳以上でなければなりません。  
 ▶020 must (義務・必要)  
 \* according to A [A (新聞・文獻・調査など)によれば (…だそうだ)]  
 \* … years old or over […歳以上]
  - ③ 私の父は病弱だったので、14歳の時に学校をやめなければならなかった。  
 ▶021 have to do (義務・必要)  
 \* quit school [学校をやめる、退学する]  
 \* because of A [Aの理由で、原因で] (▶127)
  - ④ 息子のサッカーのユニフォームはまだくたびれていない。まだ新しいユニフォームを彼に買ってあげる必要はない。  
 ▶021 don't have to do (不必要)  
 \* a new one is a new soccer uniform を表す。(▶167)  
 \* in good shape [調子がよい、しっかりして、よい形状で]
  - ⑤ 私たちの日本語の先生は、少なくとも1つは外国語をみんなが勉強すべきだと言っている。  
 ▶022 should (義務・忠告)  
 \* everybody は単数扱いなので④have toは不可。  
 \* at least [少なくとも]  
 7. ④ 私はむしろタクシーで行きたい。  
 ▶023 would rather do …
  - ⑥ とても疲れているので、今夜、私はパーティーに参加したくない。  
 ▶023 would rather not do …
  - ⑦ あなたはすぐに宿題を終えた方がよい。  
 ▶024 had better do

- ② 私たちはこれについて今すぐにはだれにも話さない方がよい。  
 ▶024 had better not do  
 \* not …! just yet [今すぐには…しない、…するのはまだ早い]
- ① 彼は新人だった頃、毎朝、いくつもの異なる新聞を読んだものだった。  
 ▶025 used to do
- ④ 私は以前この映画を見たかもしれないが、確かではない。  
 ▶026 may have done
- ③ キヤサリンは昨日、財布をなくした。バスで落としたにちがいない。  
 ▶026 must have done
- ① 昨日、彼があなたを彼の姉妹に紹介したはずがない。なぜなら、彼女は3年前に亡くなっているから。  
 ▶026 cannot have done
- ③ 私たちはちょうどその電車に乗り遅れた。もう少し早く会社を出るべきだった。  
 ▶027 should have done
- ④ ジョージと私は昨夜のパーティーを大いに楽しんだ。あなたも来るべきだったのに。  
 ▶027 ought to have done
- ③ 選挙権のニュースを聞いたとき、メアリーは微笑まなではいらなかった。  
 ▶028 cannot [can't] help doing
- ② 「あなたのアパートは本当にこちらよりいいですね」「ここは狭いとはぶんあなたは思うでしょうが、実際は平均よりも広いのです」  
 ▶028 may well do …  
 \* 比較級 + than average [平均(値)よりも…、標準と比べて…]
- ① バスは2時間ないので、タクシーに乗る方がよい。  
 ▶028 might as well do …

以上いまい方がよい。

- ③
- ③ Don was late for his doctor's appointment and had to make another for the following day.  
 ▶021 have to do (義務・必要)  
 \* make another is make another appointment を表す。  
 \* make an appointment for A [A (日程)の予約をする]
  - ③ You had better work harder if you want to pass your exam.  
 ▶024 had better do
  - ④ Mr. Brown cannot be over fifty because he is younger than my father.  
 ▶019 cannot [can't] (否定の確信)
  - ③ Where should I take it to have it repaired?  
 ▶022 should (義務・忠告)  
 \* to have it repaired は不定詞の副詞用法で(目的)の意味。(▶042)  
 \* have it repaired は have A done [Aを…してもらう]を用いた表現。(▶075)
  - ③ You should not have driven so fast in such a heavy rain.  
 ▶027 should not have done
- ②
- ① → used 私は幼い頃、バレリーナになったかったの、バリエのレッスンを受けていたものだ。  
 ▶025 used to do
  - ① → had better not 私たちはこの町にはこれ

# 9 動詞の語法②

①

1. ② あなたの母親はその知らせを聞いたとき、悲しそうに見えた。 ▶080 look C

2. ② 「アナウンスは何でしたか」「電車が動いている間は座ったままでいるように、言いました」

▶080 remain C

\* remind C, remake C, remark C という形はない。

\* remind は remind A of B [A (人) に B を思い出させる] という形で用いる。(▶085) remake A は「Aを作り直す」、remark that 節は「…と述べる」という意味。

\* remain seated 「座ったままでいる」、be in motion 「動いている」

3. ② トムは双子の兄[弟]と外見は似ているが、性格は似ていない。 ▶081 resemble A  
\* resemble は状態動詞なので進行形にできない。(▶003)

\* in appearance 「外見は、見かけは」

4. ① 今はこの問題について話し合う時期だ。

▶081 discuss A

\* this is the time to do (今は)…する時である」

5. ③ その電車はとても混んでいたの、私はある女性をつま先を踏んでしまった。私はそのことで彼女に謝罪しなければならなかった。

▶081 apologize to A for B, complain to A about [of] B

\* step on A 「Aを踏む、踏みつける」

6. ④ 彼は去年、高校を卒業した。

▶081 graduate from A

7. ① 私がこの自転車を修理してもらうのに200ドルかかった。 ▶082 cost A B

\* need, spend は SVOO の形で用いることができる。pay は SVOO の形で用いられるが、文意が通らない。

\* It costs A B to do は「A (人) が…するのに B (金額・費用) がかかる」という意味。It は形式主語で、to do が真正主語。

8. ④ 私は彼に1万円借りており、今月末までに

は返済しなければならぬ。

▶082 afford A B / owe A B / offer A B

\* borrow 以外は SVOO の形で用いることができるが、文意が通るのは owe だけ。

9. ④ 上昇する海面と温室効果ガスの増加は、私たち人間の活動の結果である。 ▶083 rise

\* Rising は現在分詞で sea levels を修飾している。(▶062)

10. ① 私は具合が悪い。しばらく横になると思う。 ▶083 lie

\* feel ill 「具合が悪い」、lie down 「横になる」、for a while 「しばらく(の間)」

11. ④ 彼女は韓国に行ったことがある[行ってきたところだ]と、私に言った。 ▶084 tell A that SV

\* have been to A [Aに(今までに)行ったことがある(行ってきたところだ)] (▶005)

12. ③ 彼女は自分の娘の結婚について、私に話した。 ▶084 tell A about B

13. ① 私が話しかけた女性は、高髷で白髪だった。

▶084 speak to A

14. ② 私たちの先生はその川で泳がないように、私たちに言った。 ▶084 tell A to do

\* tell A not to do 「Aに…しないように言う」(▶044)

15. ① 今年のモデルは去年のモデルよりも少し値段が安いと、そのカタログに書いてある。

▶084 say that SV

\* last year's は last year's model を表す。

16. ① 「すべての面倒は私が見る」と彼は友人に言った。 ▶084 say to A, "..."

\* take care of A 「Aの面倒を見る」

17. ④ あなたが私を説得して私に行かせる方法はない。 ▶084 talk A into doing

\* you can talk me into going は関係詞節で、way が先行詞。(▶094)

18. ④ この写真を見るといつも、彼女は故郷を思い出した。 ▶085 remind A of B

\* remember A は「Aを覚えている」、consider A は「Aを熟慮する」という意味。regard は regard A as B 「AをBと見なす」という形で用いる。

19. ④ 修学旅行のお金を来週持つてくるように先生は

私たちに念を押した。 ▶085 remind A to do

20. ④ その製薬会社は、命に関わる副作用の可能性を服用者に伝えることをためらった。

▶085 inform A of B

\* authorize A は「Aを許可する」、announce A は「Aを発表する」という意味。communicate は communicate A to B 「AをBに伝達する」や、communicate with A 「Aと意思疎通する」という形で用いる。

\* hesitate to do 「…することをためらう」(▶073)

21. ① 私は今、彼の正直さを確信している。

▶085 convince A of B

\* confide は confide in A 「Aを信頼する」や confide A [A (秘密など) を打ち明ける] という形で用いる。

\* be convinced of A 「Aを確信している(= be sure of A)」

22. ④ もし脳から酸素が奪われたら、脳の数分で脳の機能は停止する。

▶086 deprive A of B

23. ① 昨晚、キヤンクがその銀行から10億円を強奪した。 ▶086 rob A of B

24. ④ 突然の嵐のせいで、私たちはドライブを続けることができなくなった。

▶087 prevent A from doing

25. ③ 突然の雷雨のせいで、私たちは野球をすることができなくなった。

▶087 stop A from doing

26. ④ その芝居はとても退屈だった。私は眠らないようにすることがほとんどできなかった。

▶087 keep A from doing

\* vary は自動詞で「変わる」、他動詞で「…を変える」という意味。derive は derive from A 「Aから由来する」や、derive A from B 「BからAを引き出す」という形で用いる。indulge は indulge in A 「Aにふける」や indulge A 「Aを満足させる」という形で用いる。

27. ③ 最近の親は子どもにも多くの娯楽を与えすぎる。

▶088 provide A with B

28. ② ジョアンソン一家は東京に住んでいたとき

アパートを借りていたが、そこは非常に家賃が高かった。 ▶089 rent A

29. ③ 私は地元の図書館からその本を借りることができた。 ▶089 borrow A

30. ① 「30ドル貸してもらえませんか。向こうにある教科書を買わなければなりません。明日返すということはいいですか」

▶089 lend A B

\* over there 「向こうに、あそこ」、pay A back / pay back A 「Aに(借金を)返す」

31. ③ 私の兄[弟]は私の宿題を手伝ってくれたものだ。

▶090 help A with B

32. ③ 彼は、貧しい学生や社会人が大学へ行くのを手助けするために奨学金を設けた。

▶090 help A (to) do

②

33. ③ → approaching 「ぼろまじった老人が、泣いている女の方へ近づいていた」

▶081 approach A

\* in ragged clothes は「(着用)のinを用いた表現」。(▶122)

34. ② → marry ジョロウはヨウコと結婚したいと長い間思ってきたが、彼女は独身でいようという決心を決めていた。

▶080 stay C / ▶081 marry A

\* long 「長い間、長く(副詞)」、be determined to do 「…しようと決意している」

③

35. You can't go wrong if you follow the advice of elderly people.

▶080 go C

36. The man was deprived of the job that he had had for twenty years.

▶086 deprive A of B

\* that he had had for twenty years は関係詞節で、the job が先行詞。

37. Taking aspirin helps prevent blood clots from forming in your arteries.

▶087 prevent A from doing / ▶090 help (to) do